

# うるわし通信



一般社団法人  
うるわしの桜井をつくる会  
〒633-0091 奈良県桜井市  
桜井1259エルトさくら内  
TEL&FAX:0744-43-7773  
URL : http://lets.some.jp  
E-mail : lets@some.jp

令和6年9月

## 今後の三輪参道整備事業に注目しよう

“一点突破 全面展開”と言われることがよくある。桜井市のまちづくり事業は、奈良県と包括協定事業として5カ所で進められてきている。その中で三輪参道整備事業は、県が進めている県道整備が道路の照明や道標整備等は継続されるが、一応の区切りを迎えようとしている。

今後、桜井市や地元諸団体による周辺整備事業やソフト面でのまちづくり対応がどのように進むのか。市内のその他の協定事業の今後を考えるうえで、試金石ともなる重要な時期を迎えた三輪地域の現状と課題を考えたい。(本通信71号--2019年1月既報)

三輪参道整備事業は、平成29(2017)年に開始され、その目標は「大神神社の上品な参道づくりと三輪のまちの賑わい創出」として行政(県・桜井市)や地域住民、関係諸団体が一体となって進められて来ている。この間整備に向けた「基本計画」は、平成29年と令和4年に2度更新され、JR踏切から大神神社二の鳥居までの間で、道路改修をはじめとした環境整備事業がおこなわれてきた。そしてこの間、JR三輪駅横と二の鳥居横の公衆トイレの整備や中央参道形式と取り入れた上品な参道整備が進められてきた。



<踏切より神社側の道路>



<鳥居付近より踏切への歩道>



<鳥居前広場横のトイレ>

令和4年版「基本計画」では、にぎわいづくりプロジェクトとして

- ①参道沿いの賑わいづくりとして商業複合施設整備
- ②JR三輪駅前の賑わいづくり(駅舎改修・利活用等)

③駅から参道までの景観形成 などが目標とされ、桜井市や地元を核とした「大神神社参道周辺地区まちづくり協議会」がその推進を担うこととなる。現在の計画期間は令和8年迄とされており、期限内での実施が困難になると次期計画に先送りされるが、そうなると大鳥居までの計画はエンドレスになりかねない。(裏面に続く)

参道整備事業については、2016（平成28）年に市議会でも産業建設委員会メンバー8人が「出雲大社を中心としたまちづくり」の行政視察をおこない、市議会でも市長に質問がなされた（2016年12月市議会「議事録」）。当時、松井市長は「桜井市のまちづくり、三輪だけでなく、初瀬も、あるいは桜井の駅前も大福もというような形で進んでいくと思います。まちづくりは、人づくりであると～（中略）、今が桜井市にとってのよみがえらせる最後のチャンスというぐらいの思いを込めて、しっかりと頑張っていきたい」と答弁している。

**奈良県と桜井市とのまちづくりに関する包括協定（事業目的）**

事業名	事業期間（当初）	事業目的(趣旨)
中和幹線栗殿近隣 (医療・福祉・防災の新拠点施設) 周辺地区のまちづくり	第1期まちづくり基本計画 平成30年度～ 第2期まちづくり基本計画 令和5年度～	子育て世代・高齢者をはじめ、人にやさしい医療・福祉・防災の拠点づくり
大神神社参道周辺地区のまちづくり	第1期桜井市大神神社参道周辺地区 まちづくり基本計画 平成29年度～ 第2期桜井市大神神社参道周辺地区 まちづくり基本計画 令和4年度～	参道沿道を核とした賑わい創出と持続的発展及び活性化を目指したまちづくり
近鉄大福駅周辺地区のまちづくり	近鉄大福駅周辺地区まちづくり基本構想 平成27年度策定 近鉄大福駅周辺地区まちづくり基本計画 策定期間検討中	高齢者や子育て世代が地域に生き活きと住み続けられる多世代居住のまちづくり
桜井駅周辺地区のまちづくり	第1期まちづくり基本計画 平成30年度～ 第2期まちづくり基本計画 令和5年度～	桜井市の中心拠点としての駅前エリアの再生と、地域資源を活かした賑わいあふれる住みよいまちづくり
長谷寺門前町周辺地区のまちづくり	第1期まちづくり基本計画 平成30年度～ 第2期まちづくり基本計画 令和5年度～	地区に残る町家や歴史文化資源、自然環境を活かしたまちなみづくりを推進し、観光による賑わいと安心・安全の暮らしを目指す

この間、コロナ禍等での工事の遅れが生じてきているが、計画着手から8年が経過し、三輪地域のまちづくりが正念場を迎えようとしていることは、疑いないだろう。桜井市の南北軸（縦軸）として、纏向遺跡・山の辺道・大神神社・世界遺産登録を目指す山田 寺跡-高家のオーベルジュ施設などと、東西軸（横軸）として、長谷寺・横大路（伊勢街道）・吉備池廃寺（百済大寺跡）・大福遺跡等々の日本古代の歴史街道を構成する多くの歴史資源の宝庫があり、それを活用しての桜井市の活性化が問われている。（編集子 楠木）

**三輪参道整備計画【行程表 令和4～8年】（参道整備計画HPより）**

事業名	事業主体	事業内容	R4 ~ R8				
7. 商業施設等整備事業	市	●当地区全体を活性化させるためのモデル事業として、大神神社参道周辺における賑わい創出の核となるような商業施設等を整備するための基本計画作成、地権者調整	基本計画の作成、地権者調整				
	市・事業者	●商業施設等の設計、整備	商業施設等の設計	商業施設等の整備			
	市・事業者	●施設運営事業者の決定	施設運営事業者の検討				
8. JR三輪駅周辺整備事業	市	●地区の玄関口として来訪者の利便性・快適性を高めるためのトイレ整備					
	市・事業者	●駅前広場の環境整備（駅前広場と一体的な賑わい施設の検討）	計画・検討	駅前広場等設計	駅前広場等整備		
	県・市	●JR三輪駅と参道の賑わいをつなぐ動線の強化（県道三輪山線へのアクセス動線となる県道三輪停車場線及び、市道（駅前～県道三輪山線への南北軸）について、参道の歩道にあわせた美装化を実施）				賑わいをつ	
	市・事業者	●駅舎の改修・利活用等（臨時改札口や臨時職員施設など普段利用していない施設の改修、地域住民利用や売店（土産物、コインロッカー）、観光案内拠点等利用などでの利活用）	計画・検討	駅舎設計	駅舎整備		

## 《ボランティアの会土舞台》の活動について

代表 紙矢 和子

古代国家が形成された地 桜井は、相撲発祥・仏教伝来・万葉集発耀ゆかりの地等「日本で最初に」されたと言われる物事が多くあります。

大字谷の桜井公園の中にある土舞台もその一つです。「百済から帰化した味摩之が桜井で子供達に伎楽を教えた」と日本書紀に記されていることから、又聖徳太子が日本で最初に芸能を研究した場所と言う説があることから、土舞台は芸能発祥の地と言われています。

このような歴史豊かな地を未来に向けて大切に守り育て【土舞台顕彰会の皆さんと共に清掃・美化活動】て行くためにボランティアの会土舞台は、平成23年4月に発足しこれまで13年間の活動を通じ多くの皆様にご支援、ご協力を賜りました。

本会は会員が共同して実施するボランティア活動を通じ近隣公園である桜井公園内にある土舞台を市民に慕われる憩いの場として、復活させ歴史ある土舞台を後世まで伝えその存在を市内外にアピールし、桜井市の歴史の伝承や観光振興に寄与し地域貢献することを目的としています。

発足時会員数は8人で、ピーク時は17人まで増えましたが、コロナ禍では思う様に活動ができず、現在では12人の会員がそれぞれ都合のつく日に活動しております。

活動内容は主に桜井公園等の公共施設の清掃・草刈・植栽の補植等の美化活動や平成26年からは、土舞台顕彰会と協力し、毎年秋に開催される土舞台顕彰大祭の支援や、ソラほんまちフェスタへの出店、聖徳太子シンポジウムでのPR等様々な活動をしています。

その他、さまざまな交流活動を進めてきていますが、活動の中で最も思い出深い出来事は活動5年目の平成27年9月に「徳光和夫の名曲につぽん」収録ロケのお話しがBSジャパンからあり、歌手の水森かおりさんと、作曲家の玄哲也さんが土舞台で奈良市の子供達と「大和路の恋」（その年の紅白歌合戦に歌われた曲）を熱唱していただき、土舞台の存在を全国の皆さんに紹介できました。このことにつきましては、私たちの活動を地道に積み重ねてきた活動の成果であると考えております。

今後も皆様からの支援を頂き、ボランティア活動を継続しすこしずつ着実に未来に歩み続けて、「笑顔がいっぱい咲いている土舞台」を目指して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



【桜の名所でもある土舞台】



【三輪山も眺望の中に】



【顕彰会活動で伐採や道路の整備なども】

## 災害に備えましょう？

今年は元日に能登半島地震が発生し、8月8日の夕方に日向灘を震源とする地震が発生すると南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が初めて発表されました。幸いにも同月15日には特別な注意の呼びかけは終了しましたが、スーパーやホームセンターの水やトイレトペーパーが売り切れ、令和の米騒動まで起こりました。

ロシアによるウクライナへの侵攻や円安の影響で、小麦製品の価格が軒並み上がりましたが、お米は国内生産なので安心感があったのですが、昨年の猛暑と水不足で米どころの新潟や秋田で不作となり、地震臨時情報が出て、備蓄用に買い求める人が急増したようです。政府は「8月には新米が出回り9月からは主産地の出荷も始まる。消費者の皆様は普段通りにお米を買い求めてほしい」と呼びかけている。



お米が無くなった陳列棚

いま大切なのは「必要な量だけ買うなど、落ち着いた購買行動」である。

## 桜井図書館友の会

### ● 読書会の日程です

9月28日（土）『笹まくら』 丸太才一著

10月16日（土）『ある家族の会話』 ナタリア ギンズブルグ著

時間は、共に午前10時～12時

場 所：桜井市市民活動交流拠点会議室(エルト桜井2階内)

問合せ先 南部 ☎ 0744-43-5949 会員以外の参加も歓迎します。



## 編集後記

連日の酷暑・猛暑で、処暑という言葉が「幻想」のような感覚で、何時になったら涼しくなるのかと思う。5月に植えられた稲は、既に穂を出し、花を咲かそうとしており気の早い虫たちの声を聴く、早朝の散歩をしながら。

桜井でのさまざまな活動の紹介をテーマに、今回は三輪地域と桜井・土舞台での取組を取り上げた。継続して、地域の顔でもある『駅』に焦点を当てて、まちの移り変わりや地域の課題を考えていくこととする。次回は、巻向駅周辺の活動について。話題の提供もお願いしたい。

（編集子）

うるわし通信発行人  
ひがし俊克  
TEL:090-3652-8104